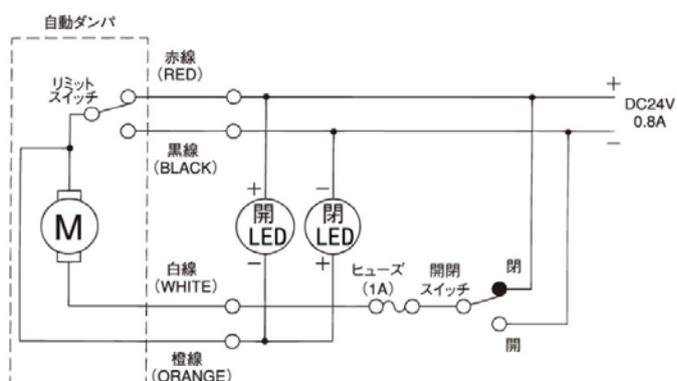


- ④自動ダンパは周囲温度 $-5^{\circ}\text{C}\sim+40^{\circ}\text{C}$ の雰囲気を設置してください。また、屋外で風雨にさらされる場所、腐食雰囲気、爆発性雰囲気、可燃性雰囲気等には設置できません。
- ⑤自動ダンパに供給する流体は $0^{\circ}\text{C}\sim250^{\circ}\text{C}$ までの気体としてください(液体、蒸気等は供給しないでください)。なお、駆動部が水平より下側の場合のみ、 350°C までの気体を供給できます。

注意: 自動ダンパ7ADシリーズは、お客様でのダンパの開閉角度の調整、及びモータ駆動部の取付位置の変更はできません。(カタログに記載しています様に、ダンパの開閉角度の調整、及びモータ駆動部の取り付け位置の変更は、ご注文時の指示が必要になります)
ご購入後、ダンパの開閉角度の調整、及びモータ駆動部の取り付け位置の変更が必要な場合は、必ず弊社へお問い合わせください(別途費用を申し受けてのご対応となります)。

3. 配線

- ①下記、接続図に従って、自動ダンパの回路を組んでください。
《接続図》



※ ダンパの開閉稼働中にDC電源の供給を切り替え、及び停止しないでください(必ず3秒間は開閉信号を供給し続けてください)。

- 自動ダンパが閉状態から、DC24Vを赤線(+)、白線(-)に供給すると、自動ダンパは開になり、リミットスイッチが黒線側に切り替わります。
- 自動ダンパが開状態から、DC24Vを白線(+)、黒線(-)に供給すると、自動ダンパは閉になり、リミットスイッチが赤線側に切り替わります。
- 橙線は自動ダンパの開閉状態を極性を有するLEDで表示する場合にご使用ください。

《注意》

ダンパの保護として、必ず駆動回路にはヒューズ(AC125V/250V 1A)を組み込んでください。ヒューズを組み込まない、または1Aを超えるヒューズを組み込んだ場合、ダンパの保護ができず、モータ部が損傷する可能性があります。

4. 使用上の注意

- ①自動ダンパはダンパの開閉状態を目盛板にて確認できます。
O → 全開 S → 全閉
- ②ダンパの開閉が経年変化により重くなってきた場合は、摩擦部へシリコングリスを塗布してください。
(塗布方法についてはお問い合わせください。)

※自動ダンパ7ADシリーズは、ダンパ内部に補強ストッパの搭載により、ダンパ主管部の変形防止、ダンパ全閉時の隙間軽減を実現しましたが、ダンパ主管部やモータ駆動部への過度な負荷は絶対にかけないでください。



7AD150~7AD250
(補強ストッパ付)
※全閉時の隙間軽減のため、ばね機構を搭載

製造
販売



株式会社 関西電熱

本社 〒577-8566 東大阪市高井田西5丁目4番18号
TEL (06) 6785-6001(代) FAX (06) 6785-6002
東京支社 〒144-0035 東京都大田区南蒲田2丁目4番4号
TEL (03) 5710-2001(代) FAX (03) 5710-2005
ホームページ www.kansaidennetsu.co.jp